

令和5年8月31日

山形県中学校駅伝競走大会参加校 各位

山形県中学校駅伝競走大会 会長 坂上 一美
" 実行委員会 会長 高橋 和哉

令和5年度山形県中学校駅伝競走大会 熱中症対策に係る競技運営について

日頃より、本連盟及び本大会実行委員会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の熱中症事案の増加等は、競技の運営上、看過できない状況にあります。大会当日の気象状況等によっては、熱中症等の重大事故につながる懸念されます。

つきましては、学校教育における安全かつ適正な大会運営と、何よりも生徒の生命の安心安全を確保するため、下記の通り対応いたしますのでご理解とご協力をお願いいたします。

記

- 1 競技開催時刻を**女子10:15、男子11:35**に変更する。伴って開始式の中止、学校受付時間の変更を行う。
 - 2 生徒の生命の安心安全を最優先として、競技の可否を適切に判断する。
 - 3 気温35℃未満・暑さ指数(WBGT) 31℃未満の場合、十分な熱中症対策をとった上で競技を実施する。気温35℃以上・暑さ指数(WBGT) 31℃以上になった場合は競技を止め、気温35℃未満・暑さ指数(WBGT) 31℃未満となり、安全が確保されることを確認した上で、以下4の項目に従って競技を再開する。スタート30分前に一次判断を行う。該当とならなければ通常開催とする。(熱中症警戒アラートが出ている場合も同様)
暑さ指数(WBGT)は、総務及び救護係が常に注視し、30分毎に計測・記録を行う。記録後、大会会長・実行委員会会長に報告するとともに、会場に放送にて周知する。
 - 4 準備及び競技中に、気温35℃以上WBGT指数が31℃以上になった場合は、大会会長・実行委員会会長で検討の上、大会会長の判断で以下の通り対応する。
 - (1) スタート30分前の一次判断で該当となった場合は、スタート時刻をずらして行う。
その際のスタート時刻については気温及びWBGT指数を予測想定して実行委員会で検討する。
 - (2) スタート後に該当となった場合は以下の通り**特別レース**とする。
 - ① 対象区間の選手はそのままレースを行い、全員が中継点に到着した時点で競技を中断する。
 - ② 上記(2)のスタート時刻確定後、**それ以降の区間から特別レース**として競技を再開する。
 - ③ 特別レースは通常コースで行い、最初の区間は**一斉スタート、それ以降は駅伝方式**とする。
 - (3) 中断前の記録と特別レースの記録から総合記録を算出し、順位を確定する。
 - 5 参加校の顧問・担当は、生徒への事前指導として、競技前日までの十分な睡眠と休養、当日の休憩と給水等の体調管理を徹底し、熱中症等の未然防止に努める。
- ※ レースが夕方近くになることも想定して、各校では準備を進めてください。特に遮熱対策の徹底、食事、送迎バス等の確認をお願いします。